

インナー健闘 営業益 5 割増

澤村 9 月期

澤村の 2011 年 9 月期は売上高が 122 億円で前期比 0.7% 減、営業利益は 3 億 3900 万円、経常利益は 2 億 6300 万円でそれぞれ 53.9%、72.3%増加した。純利益は為替デリバティブを特別損失として計上した結果 2600 万円となったが、前の期の 2 億 400 万円の赤字から黒字浮上した。

商品部門別では、テキスタイル事業の売上高が 4.6%増加した半面、製品が前期に発生した関係会社の事業整理からインナーで取り扱いが減少した。営業利益ではインナー用を中心とするテキスタイルやレースが貢献、増益につながった。

連結ベースでは売上高 139 億円（前期比 0.7%増）、経常利益 3 億 6800 万円（同 4.8 倍）だった。

今期は売上高 122 億円、経常利益 3 億円を見込む。祖業であるテキスタイルを改めて見直し、強化する一方で、採算的に厳しい単純なアパレル OEM 事業は整理していく方針。

9月期

● 澤村

経常利益は大幅増

売上高 122 億 800 万円（前期比 0.7%減）、経常利益 2 億 6300 万円(72.3%増)の微減収・大幅増益。税引前利益は為替際の発生で 4300 万円にとどまった。東日本大震災で市況悪化もあったが、インナーテキスタイルの米国向け輸出素材や車両用ラミネートテキスタイルが伸び、売り上げは前々期と同水準。期中原料高を販売管理費の抑制でカバーし、経営増益に寄与した。OEM（相手先ブランドによる生産）中心の製品事業はアウターアパレルが微増収も、収益面で苦戦した。期中に上海法人を設立し、テキスタイル開発、販売、生産管理を強化する。コア事業のインナー分野でテキスタイル開発、提案力を強化、新たな仕組みで製品事業と連動を深める。タイ、インドネシアなど東南アジアでもテキスタイル開発、生産体制作りを本格化する。12年9月期は売上高で現状維持、経営利益で 3 億 5000 万円を目指し、収益性を高める。